

【第1問】

次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	現金過不足	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	未着品	積送品	立替金	仮払消費税
備品	土地	支払手形	買掛金	借入金
未払金	未払法人税等	未払消費税	前受金	前受利息
商品券	仮受金	仮受消費税	所得税預り金	資本金
引出金	売上	受取利息	仕入	発送費
法定福利費	支払地代	旅費交通費	租税公課	支払保険料
雑費	有価証券売却益	有価証券売却損	支払利息	手形売却損

- 得意先山梨商店より注文のあった商品 ¥300,000 (原価 ¥240,000) を発送し、代金のうち ¥60,000 は、同店より注文を受けたさいに受け取っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。なお、先方負担の送料 ¥3,000 は、運送業者に現金で支払った(送料は、掛代金に含めないこと)。
- 備品 ¥700,000 を購入し、代金の全額を翌月末に支払うことにした。この購入にともない発生した運搬費 ¥10,000 および据付費 ¥18,000 は現金で支払った。
- 現金の実際有高が帳簿残高より不足していたため現金過不足勘定で処理していたが、本日、旅費交通費 ¥6,400 が記入漏れとなっていたことが判明した。
- 富山商事株式会社は、決算にあたり、商品売買取引に係る消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、消費税の仮払分は ¥94,800、仮受分は ¥127,800 であり、消費税の記帳方法として税抜方式を採用している。
- 決算の1か月前に満期の到来した約束手形 ¥1,500,000 について、満期日の直前に手形の更改(満期日を3か月延長)の申し出があり、延長3か月分の利息 ¥60,000 を含めた新たな約束手形を受け取っていたが、未処理であることが決算時に判明した。なお、あわせて利息に関する決算整理仕訳も行った。

【第2問】

解答用紙の精算表の修正記入欄、損益計算書欄および貸借対照表欄に、適当な金額を記入して、精算表を完成しなさい。

受験番号:	氏 名:	
-------	------	--

【第1問】

	勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号:	氏 名:	
-------	------	--

【第2問】

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
売掛金	84,000						84,000	
売買目的 有価証券	130,000							
繰越商品	57,000		52,000				52,000	
消耗品	8,000						7,700	
備品	90,000						90,000	
貸倒引当金		700						
減価償却累計額		25,000						30,000
資本金		220,000						220,000
売上		400,000				400,000		
受取手数料		50,000				52,000		
受取利息		23,300	300			23,000		
仕入	270,000			52,000				
広告料	52,000							
支払家賃	28,000							
	719,000	719,000						
有価証券評価損			4,000		4,000			
貸倒引当金繰入			300		300			
消耗品費								
減価償却費								
未払広告料								3,000
前払家賃			6,000				6,000	
未収手数料								
前受利息								
当期純利益								
			129,900	129,900	475,000	475,000	367,700	367,700

※損益計算書の当期純利益の金額は赤で記入する必要はありません。